

氏名	ちよんぷーらっと ちよんぷーぬっと CHOMPOORATH CHOMPOONOOT
学位(専攻分野)	博士(学術)
学位記番号	博甲第879号
学位授与の日付	平成30年3月26日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 建築学専攻
学位論文題目	A Study of the Formation and Development of Shopping Area in Chiang Mai, Thailand: case study of Thapae Street and Nimmanhaemin Area in Chiang Mai, Thailand (チェンマイの商業地域における形態と発展に関する研究-ターペアー通りとニマンヘミン地域を事例として-)
審査委員	(主査)教授 木村博昭 教授 鈴木克彦 准教授 高木真人 准教授 大田省一

論文内容の要旨

本論文は6章から構成され、次の三点を目的とした研究である。第1に都市化が進行するチェンマイの周辺地域の発展過程と商業地域の変化、第2に都市の拡張に伴う旧商業通りに取って代わる百貨店等の大型商業施設に至る過程とその要因、第3に今後の開発を示唆する研究である。

1章は、チェンマイ市において、1900年初頭に始まる最初の商業通りであるターペアー・ストリート(Thapae)から、都市のインフラ整備と共に、都市周辺に商業エリアがどのように発展拡張し、その過程を述べている。

2章は、ターペアー・ストリートに焦点をあて、都市の歴史文献と古地図などの資料を基に、この商業エリアの形成過程の痕跡を探り調査を行っている。ピン河と城壁のアーペアー門を結ぶ輸送ルートから始まり、元々はオープンマーケットとして市場が開設され、後に貯蔵、販売、生活のために、商店街が形成されたと論述している。

3章では、このターペアー・ストリートの現在現存する全ショップハウスの詳細な現地調査を行ない、確認出来る過去の写真資料と建て替え後の現状写真、その後の改装状況等の追跡調査を行い、貴重なデータとなる調査資料に纏めている。更には、現況調査から用途変更と改造改築に至る詳細な部分にまで言及し、その変更過程を調査している。これらのショップハウスの分類化を行い、木造構造、木造+コンクリート構造、コンクリート造によるもの、そして最初の生成期から現代に至る、年代別の建築スタイルの様式変遷を明確化している。時代と共に変遷するショップハウスの適応力の現況を論述している。近年の都市の拡張と共に、モーターレーゼーション化による郊外にアクセビリティの良い大規模商業施設の出現により、一方でターペアー・ストリートは、古い都市構造と規模に合致せずに、大規模な商業拠点に発展せず、それが反って歴史的な商業通りの特性を維持することができた要因であったと述べている。

4章では、現在、最も活気ある新興の商業エリアであるニマンヘミン地区(Nimmanhemin)をターペアー・ストリートの比較対象地として、詳細な現況調査を行っている。当初は、住居地

域として整然と区画整理され開発された地区であったが、1990年以降、ニーマンヘミンは、急速に商業開発され、大部分の店舗施設は住宅から改築され、そして商業施設、コンドミニアムの開発が行われた。ニーマンヘミン地区の構成、建物分類、商業化の変遷とその影響を考察し、その変遷と特性を明確化している。

5章では、大規模商業施設建設以降の、オープンマーケットの衰退を論述し、6章では、総括として、都市に於ける商業空間は、経済的利益と都市の公共性を担うとして、商業空間と公共空間の両立する良い利用事例として、現在、チェンマイのツーリストと住民でにぎわう地区である、ニーマンヘミンの商業施設とターペアー・ストリートの店舗状況を比較しながら、その場所の公共的特性を論じ、今後の保存と開発のあり方の示唆している。

論文審査の結果の要旨

本論文は、タイの歴史都市であるチェンマイのショッピングハウス並びに商業地域と施設の形成過程を論じ、商業化の特性と要因を明らかにしようとした研究である。チェンマイは古都であり、観光都市として急速な経済的発展を遂げている。都市の拡張に伴うモーターリーゼーション化による、高速道路やバスターミナル、そして鉄道・飛行場・大学により、拡大する商業地区、新たなビルディングタイプの大型商業施設の出現など、都市構造が大きく変化している。一方でこれまでの伝統的なランナー様式の建築、ショッピングハウスなどの特色ある建築が失われる状況にある。経済的発展と自国のアイデンティティーの両義性を保つことは、重要な課題であり、アジア都市における観光都市の在り方を示唆する論文でもある。

本論文は、2つに大別し、特に評価すべき点として、前半では、チェンマイで最も古い商業通りのターペアー・ストリートの起源とその歴史的な形成過程を示し、また現存しているショッピングハウスの現況調査を詳細に記録している。そして時々の要求に即しながらの柔軟な対応による増改築や寺院建築の残る地区特性など歴史的な街並みの変遷過程を指摘している。そして後半では、新興地区であり、近年、若者やツーリストを取り込みながら商業化する本来は住宅地として開発されたニーマンヘミン地区を取り上げ、コンドミニアム、ホテル、店舗等、元々の住宅を残しつつ増改築されながら、公共的空間が面的に拡がりつつある現状を指摘している。一方、ターペアー地区については、ショッピングハウスの間口で規定された道路ファサードを残したまま、背後に増築する線的な拡張を指摘している。この最も古い商業通りであるターペアー・ストリートと商業化する新興地区のニーマンヘミン地区との発展過程を比較し、また、ターペアー・ストリートにおける半公共的な寺院の存在や、ニーマンヘミン地区における私的な宅地が商業化により半公共化する現状など、公共空間の変化の特徴を指摘している。自然発生的な現象と見られる、タイ文化の特色を残すこれらの地区の一定の淘汰された空間の法則性を明らかにしている。

本論文の内容は、精力的な調査研究に基づいた、今後の歴史都市チェンマイにおける開発と保存の指針を論じた優れた研究である。なお、本論文の研究内容は、申請者を筆頭著者とする3編の査読のあるプロシーディングとして報告され、1) 2) の2編は発表済みであり、3) の1編は発表が決定されている。

1) Chompoonoot Chompoorath, Commercial Building and their Relationship with the Economic Situation during a Period of Transition towards Capitalism: Site Study of

Historical Commercial area in Thapae, Chiang Mai, THAILAND,
Advances in Economics and Business Management (AEBM), Vol.4 Issue 1 January-March
2016, p.10~15, p-ISSN: 2394-1545 e-ISSN:2394-1553.

- 2) Chompoonoot Chompoorath and Hiroaki Kimura, Residential to Commercial area
Development : the case of Nimmanhemin, Chiang Mai, Thailand.
Nakhara: Journal of Environmental Design and Planning, Vol. 13 (2017), p 73-88, ISSN:
1905-7210.
- 3) Chompoonoot Chompoorath and Hiroaki Kimura, The formation and development of
shopping area in Chiang Mai, Thailand from Foundation of Chiang Mai (1884) to 2000:
The transition of shopping street to complex shopping building.
IRSPSD, International review for spatial planning and sustainable development, Vol.6
Issue 2 (4/15 /2018), (IRSPSD) in press e-ISSN: 2187-3666 (online).